

## 西日本総合展示場・北九州国際会議場施設再開にかかる利用条件について

国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」などを踏まえ、西日本総合展示場・北九州国際会議場施設再開にかかる利用条件について、次のとおりとさせていただきます。

利用開始日:令和2年5月25日(月)から

対象施設:西日本総合展示場(新館・本館)、北九州国際会議場

### <利用条件>

#### 1. 利用者数の制限

- ・最大定員は100人とします。
- ・当施設各会議室の最大定員については**別紙1:西日本総合展示場・北九州国際会議場／会議室推奨定員**のとおりとなります。
- ・最大定員は主催者側の人数も含めます。
- ・最大定員は、同時に利用する人数とします。

#### 2. **別紙2:会議室・展示場施設における感染防止対策の徹底について【チェックリスト】**の確認及び誓約をいただきます。

- ・「基本的感染症対策」及び「新しい生活様式の実践例」に基づき、利用者にて感染症対策への取り組みを行っていただくことが施設利用の条件となります。

#### 3. 感染拡大防止のため、施設利用後の会場・使用備品の消毒費用(最終清掃料)をご負担いただきます。

## 西日本総合展示場・北九州国際会議場／会議室推奨利用人数（コロナ対策期間）

最大利用人数：100人もしくは定員の50%

## ①西日本総合展示場新館

室名	スクール形式		
	通常定員	推奨利用人数	最大利用人数
301会議室	36人	12人	18人
302会議室	36人	12人	18人
303会議室	36人	12人	18人
304会議室	36人	12人	18人
305会議室	16人	8人	8人
301+302会議室 303+304会議室 (2室一体利用)	72人	24人	36人
301～303会議室 302～304会議室 (3室一体利用)	108人	36人	54人
301～304会議室 (4室一体利用)	144人	48人	72人

※固定円卓形式

## ②AIM3F

室名	スクール形式		
	通常定員	推奨利用人数	最大利用人数
311会議室	45人	15人	22人
312会議室	45人	15人	22人
313会議室	45人	15人	22人
311～313会議室 (3室一体利用)	135人	45人	67人
314会議室	45人	15人	22人
315会議室	81人	27人	40人
314+315会議室 (2室一体利用)	126人	42人	63人

## ③北九州国際会議場

室名	スクール形式		
	通常定員	推奨利用人数	最大利用人数
メインH	585人	100人	100人
国際会議室	86人	43人	43人
11会議室	60人	20人	30人
21会議室	108人	36人	54人
22会議室	48人	16人	24人
31会議室	36人	12人	18人
32会議室	78人	26人	39人
33会議室	48人	16人	24人

※固定シアター形式

## 会議室・展示施設における感染防止対策の徹底について 【チェックリスト】

### 【基本的感染症対策】

1. 人と人との間隔は、できるだけ2m空ける
2. 入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
3. マスクの着用（従業員及び入場者に対する周知）
4. 施設の換気と消毒
5. 発熱等の症状がある場合の適切な対応（検温によるスクリーニング等）

### 【入場者の制限等】

- 入場者の整理[入場前の間隔（できるだけ2mを目安に）確保]を行う
- 入場者及び従業員のマスク着用を徹底する
- 発熱等の症状のある方は入場制限を行う（検温によるスクリーニング等）
- 入場者の手洗いや手指消毒を徹底する
- 必要に応じて、入場制限等を行うことにより、施設内の移動においても人と人との接触を避けるための十分な距離（できるだけ2mを目安に）を確保する

### 【施設内における対策等】

- 利用者間の十分な間隔（できるだけ2mを目安に四方を空けた席配置等）を確保する
- 必要に応じて、人と人が対面する場所はパーテーションやビニールカーテンを設ける
- 必要に応じて、アルコール消毒液などを設置する
- 利用中に窓や扉を開けるなど換気を行う
- 休憩室等における3密（密閉、密集、密接）の回避

### 【その他】

- 必要に応じて、『新しい生活様式』の実践例」や業種ごとの関係団体が作成したガイドラインを確認する
- 入場予定人数を事前把握し、氏名・連絡先等の把握（名簿の作成等）を行う
- 感染症防止対策及び発症者が出た場合の対応手順を決め、関係者に周知する
- 会場利用中及び利用後、2週間以内にスタッフや入場者にコロナウイルスの感染が疑われる症状が現れた場合は、当協会を含め入場者や関係先へ連絡する  
【当協会連絡先】093-541-5931（サービス課直通）

上記内容を確認の上、施設を利用します。

記入日：令和 年 月 日

利用者（会社）名： \_\_\_\_\_

担当者名： \_\_\_\_\_

緊急連絡先： \_\_\_\_\_

# 「新しい生活様式」の実践例

## (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 遊びにいくな**ら屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話を**する際は、可能な限り真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話を**するときは、症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったら**まず手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

## 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

## (2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**       咳エチケットの徹底       こまめに換気
- 身体的距離の確保       「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



## (3) 日常生活の各場面別の生活様式

### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

### 冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

## (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務       時差通勤でゆったりと       オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン       名刺交換はオンライン       対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定